

お忙しい中アンケートにご協力頂き、また貴重なご意見をお寄せ頂けたこと、心より感謝申し上げます。
皆様方からの貴重なご意見をもとに、来年度へ向けて更に工夫改善していきたいと思ひます。

◎初日のお出迎えのあり方を改善します。

→みんなで温かく出迎えられるよう、工夫改善していきます。

◎芸能交流の内容については、来年度も同じように行います。(夏:手踊り 冬:かき踊り 地区ごとに披露)

→読谷村も地区ごとにエイサーや棒術があり、私たちではなかなか違いは分かりませんが、地区によって伝統芸能があることは両村の共通点であります。また、その芸能を地区の大人が地区の子に伝承することの大切さも含めて交流をしているため、見た目の良さも必要かもしれませんが、受け継がれる価値を交流していくことをねらいとしているため、似たような踊りではありますが、地区ごとの芸能を披露していきたいと思ひます。

◎芸能交流のときの衣装については、来年度も同じようにお揃いのTシャツを着たいと考えています。

ただし、良い方法があれば、検討していきます。

→読谷村のエイサーや棒術などは、もともと子どもの芸能もあり、衣装は普段使われているものを使用しているそうです。白川村では、民謡の披露は女子中学生からとなっている地区がほとんどであり、男子については、披露する地区は南部のみであり、その衣装についても伝統的な衣装ではありません。女子のみの衣装として検討していくこともできますが、読谷村へ行く際には、着付けのスタッフが足りないことを考えると、やや難しいと思ひます。白川村で行う冬の交流会の場合は、地域の方への協力をお願いし、衣装を着けることも検討してみたいと思ひます。

◎芸能交流会にステージを使用します。

→今年度は、読谷村との打ち合わせにより、発表の際のステージを使用しないことになりました。しかし、皆さんのご意見にもありましたが、後ろの席からは見えないことが分かり、来年度からは、ステージを使用したいと思ひます。読谷村の発表でステージが不必要な場合は、白川の発表のときにステージを使用できるよう、会場設営を工夫改善していきたいと思ひます。

◎一対一の民泊交流は来年度も続けていきます。全員での宿泊は行わない予定です。

→この事業に対する両村の目的には、「成長するための民泊体験」が入っています。修学旅行のような大人数での宿泊体験ではなく、他の家庭の中で生活することで、人と関わるあたたかさ、自分で考えるたくましさなどを身につけられるよう、民泊体験を取り入れています。各家庭によって体験できる内容は異なりますが、読谷村の子ども会は、合掌造りに泊まることや特別な体験を全く求めていません。家族の方と心を通わせ、将来ずっとつながっていけるような関係を1番に求めています。今回のように、それぞれの家庭であたたかく迎え入れて頂けることを来年度も願っております。

◎全体での活動の見直しをしていきます。

→今回は、いろいろな雪での体験活動を取り入れようと、スノーシュー体験とスキー体験を行いました。皆さんからのご意見にもあったように、子どもたちのスキーを楽しむ姿がとても印象的で、ややスキーの時間が短く感じました。来年度は、スキー体験の時間を更に増やす方向で検討したいと思ひます。

◎最後の見送りについて子どもたちも参加できるよう検討します。

→計画の段階では、最後に学校へ寄ってお別れをすることも検討していましたが、6年生全員が関係している行事ではないことから、不参加の児童の気持ちも考えて、朝は各家庭でお別れをすることにしました。来年度については、学校と相談のうえ検討していきたいと思ひます。

◎最終日の役場朝礼でのご挨拶については、大きな検討課題として考えていきます。

→役場朝礼での職員の姿は、深く反省するべき点として重く受け止め、村長にもこの内容についてお伝えしました。また、読谷村の方々にも電話やメール等でしたが、深くお詫び申し上げさせて頂きました。今回の事業では、子どもたちや保護者の皆様方の姿から「形ではなく、心と心の交流の大切さ」を深く実感しました。今後は、様々な活動のなかで「心ある対応」を大切にしていけるよう努めていきます。このようなご意見を頂けたこと、心から感謝し深く反省しています。

平成25年度「白川村★読谷村子ども会交流会」ふり返りアンケートまとめ

夏の交流会について (ずいぶん前のことですみません。思い出せる点のみで結構です)

①お子さんを読谷村に送り出して、良かった点はどんなことですか?

- ・沖縄にお友達ができたことが単純にとっても良かったです。
- ・初めて出会う人のお宅に宿泊でき楽しい時間がつくれたことは、大切な思い出になり、自分に自信もできたと思ひます。
- ・よそのお宅で寝起きすることは、色々と気を遣うことも必要であり、その経験を親と共ではなく、子どもだけでできたことは、子ども自身の糧になったと思ひます。1番勉強になったのは民泊だと思ひます。
- ・文化や生活、環境が大きく違う沖縄県のお子さんと家族と交流することで、違うことの意味を自分なりに考えていました。違いを受け入れ、順応する力を持ち、ホストファミリーの1人1人の思いを考え行動することが出来たようです。戦争の影響や米軍のことなども身近に感じたようで、ニュースなどに関心を持つようになりました。
- ・自分で読谷村に行って、何をしたら学びたいかを考えて交流会へ旅立ったことが良かったです。初めての親と離れての旅行だったので、不安もあったかと思ひますが、育った場所も環境も違う家庭のなかで、少しの間生活出来たことは、とても繁樹になったと思ひます。
- ・沖縄には行ったこともないので、少し心配しましたが、元気に帰って来たので嬉しかったです。初対面の家族の家でホームステイをして、「すごく楽しかった」と喜んでいました。相手の家族の方達に大感謝です。1人では無理だったかもしれないです。6年生の団体として行ったので出来たのかも。本当に行かせて頂き良かったと思ひます。
- ・民泊が初めてで、内気な子なので心配しましたが、パートナーの子が楽しく、家族の方にも温かく見守られ、3泊過ごせました。感謝しています。人との交流や接し方を学んできたと思ひます。戦争の恐ろしさも勉強することができたようです。
- ・初めて1人で知らない人の家に泊まるということは、とっても不安だし、心配だけど、このような機会は子どものひとりだちにつながると思ひ参加を決めました。良かった点というか、子どもが帰ってきたときに、「また行きたい!」「〇〇をした。〇〇へ行った」など、思い出を話してくれたとき、送り出して良かったと思ひました。
- ・新しい友達、沖縄の文化、経験が出来た全てのことが良い思い出になりました。またいつか会えたらいいねと話しています。
- ・ずいぶん心配して送り出しましたが、少し大人になって帰ってきました。
- ・普段、家族(知人を含め)以外の家庭に宿泊することなどないので、その経験自体が、この先もないのではと思うと、貴重な時間を過ごすことができて本当に良かったと思ひます。一家族一名の受け入れという点も良かったです。というのは、複数だとやはりそこを頼ったり、そこの会話にかたよってしまいかねませんが、一対一であることで、より濃い時間が過ごせたように思ひますし、自分の意見を求められた時に、自分の意志を自分で伝えるということも、より身についたのではないかと思ひます。
- ・飛行機、民泊、交流などなど、子どもにとっては初めてのことばかりで、不安や心配はありましたが、とても良い経験でした。「ひとりだち」への歩みとして、一歩成長できたのではないかと、すごく嬉しく思ひます。女の子だけではなく、男の子とも仲良くなっていて、それも嬉しく思ひました。

②夏の交流会について、困った点や改善して欲しい点を何でもお書き下さい。

- ・ラインでの現地報告は一方通行にすれば良いと思ひました。お礼や了解の返信やスタンプで携帯が鳴り続けていたので。

③夏の交流会後、読谷村のご家族とは、どのようなやりとりをされましたか?

(例:年賀状を送った 電話をした など)

- ・電話8 ・メール ・年賀状7 ・手紙4 ・ライン(親同士など)4 ・暑中見舞い
- ・手作りアルバムを送る ・お米を送る2 ・おくりもの(食べ物など)2
- ・とっても良い方でありがたいです。
- ・無事に笑顔で帰宅したことを伝えたく電話しました。
- ・冬の交流会の前に服のサイズの確認し冬服を準備した。
- ・年賀状を親も子もそれぞれ出しました。
- ・おみやげなどの交換(どぶろくを送りました)2

冬の交流会について (良い点 困った点 改善して欲しい点 何でもお書き下さい)

①事前学習について (内容・時間・回数 など)

- ・荻町では、青年の子達に教えて頂きました。何回かの練習でしたが、一生懸命覚えていて、がんばっていました。事前学習会の回数なども良かったと思います。
 - ・適当だったと思います。これ以上の時間、回数を取ると多く感じるかもしれません。
 - ・適当だと思いました。ありがとうございました。
 - ・かさ踊りの練習を楽しそうに行っていました。少ない回数でしたが、びっくりするほど上手にできていました。
 - ・お忙しい中ご指導頂き、感謝しております。白川の文化に触れる機会が少ないのでありがたかったです。
 - ・荻町のこだいじんのかさ踊りは、かさをくるくる回すし、難しかも！と思いましたが、荻町民踊保存会の方にも6年生で踊れるように移動をなくすなどしてもらい、うまく早く覚えることができました。
 - ・民踊を指導して頂いた方には、本当にお世話になりました。踊りも上手に踊っていました。
 - ・このような進め方でいいのではないのでしょうか。
 - ・良かったと思います。
 - ・短い時間のなかで、本当に真剣に一生懸命指導して頂きました。その思いを子どもに何度も伝え、家でも練習させました。もう少し時間があれば、もっと素晴らしい民踊になったとお思いました。最後、参加出来なくて残念でしたが…。
- ▲民踊を教えてもらい良かったです。でも、夏に手踊り、冬にかさ踊りを…各地区のを…。見ている方は違いもよく分からず、似た踊りをずっと見ていて退屈だったのでは…。
- ▲南部地区は、もう少しこだいじの練習をすれば良かったと反省しました。すみません。
- ★丁寧に指導頂きとても感謝しています。子どもたちに定期的に民踊を教えて頂けるとこれからもいろいろな場面で役に立つのではと思います。

②対面式について (場所・時間・内容 など)

- ・内容などは良かったと思います。ジュニアリーダーの子達が頑張ってくれて楽しかったです。
 - ・ジュニアリーダーが頑張ってくれて盛り上げてくれて良かったです。
 - ・牛丼もおいしく頂きました。ありがとうございました。
 - ・育成会の方々に夕飯を作って頂きありがとうございました。
 - ・おいしい食事をありがとうございました。
 - ・良かったです。
 - ・レクリエーションなどを通して、打ち解けあえて良かったです。
 - ・ゲームのおかげで仲良くなるのが早くできたと思いました。
- ▲最初のお出迎えについてなんですが、みんなバラバラな感じで立って見ているって感じだったので、もっとみんなで並んで拍手で迎えるなどしたら良かったのではないかと思います。
- ▲迎えるときにバラバラな気がしたので、みんなでまとまってお出迎えができればいいなと思いました。
- ▲少し寒かったようです。
- ▲もっとお腹いっぱい食べたかった。沖縄はもっとあったようなので…。
- ▲できるだけ家族で参加したいと思いますが、高校生や中学生の兄弟がいる場合、なかなか参加できないです。父親も仕事があるので5時半は無理な場合もあります。
- ★良かった。夕方17時に来られない家族もいると思うので、お互いの家族写真を見せ合い紹介タイムがあると良いと思います。

- ・民泊中、全体活動の時間がなかったとしたら、白川村で連れて行ってあげられる所が…、もしかすると時間をもてあましてしまうかもしれません。かといって、今回よりもプログラムが多く設定されてしまうと、民泊家庭と過ごす時間が食事と寝るだけになってしまうので、今回の日程設定はとても良かったです。
 - ・インフルエンザで当日も民泊中も子どもたちの様子を気を配りましたが、無事終了でき本当に良かったです。事務局の皆様は、さぞ大変なことだったと思います。ありがとうございました。
 - ・特に夏の交流会については、いろいろとご配慮頂きありがとうございました。娘も少しずつクラスの中に戻ろうとし、前へ進んでいるところです。本人の迷いはありましたが、参加させて頂き心から感謝しております。
- ▲読谷村の方々が役場の朝礼に出席したときの役場の方達の対応や雰囲気はなんだかとても冷たく感じられました。家族、関係者だけでなく、少しの時間なので役場の方達も出てきてみんなで温かく見送ることが出来たら良かったのになあと感じます。読谷村の方々の温かさがすごくよく伝わるので！
- ▲お別れの日、役場で挨拶がありましたが、事務的でただの報告にしか聞こえなかった。あのような冷やかなものなら、しないほうがいいのでは。教育委員会の方々は温かなだったのに、残念でなりません。
- ▲最終日の朝、役場の朝礼で読谷村の子があいさつをしましたが、職員の方が「白川村はどう？」「何が楽しかった？」など、声をかけてくれるわけでもなく、逆に邪魔なような感じを受けました。読谷村の方のあいさつのおと、何事もなかったかのようにいつもの朝礼になり、読谷村の大人の方が「朝礼にお邪魔して良かったんでしょうか？」と言っていました。これは本当に残念なことだと思い、ずっと心に残っています。恥ずかしいなと思うし、あたたかい心で…という事が全くなく、読谷村の方と大違いです。役場がこのような感じだったら、白川村民全てがこんな感じかなと思われるし、すごく失礼なことをしたと、ずっと気になっています。
- ▲子どもたちが見送り出来なかったことが、残念なようでした。
- ▲帰りの日は、子どもたちが見送りできる時間があつた方が良かったと思います。
- ▲スキー体験のとき、みんな早くリフトに乗りたがっていたのですが、ロープが少なく待ち時間が多くなってしまい残念でした。
- ▲娘が一日居なかったので申し訳なかったです。花火の行事もあり、私も職場の方へ行かなければいけなかったのも、時間をもてあました感じになってしまい、反省しています。行事が重なるとあまり良くないですね。
- ▲村の行事としてやるのなら、もう少しいろいろな人と関わると良いと思いました。
- ★子どもたちがカメラを持参してくるのですが、白川到着までにもたくさん撮りたい所があったと思います。白川到着！さあ写真…というところで、バッテリーが切れてしまい、白川での写真は自分のカメラで一枚も撮れず…という状態でした。充電器さえもって来てくれれば、いくらでも充電させてあげられたのですが…。カメラの管理も自分でできていたので、充電器も管理出来ると思いました。
- ★夏の交流会で世話になったときは考えもしませんでした。冬に受け入れるときに、上の子が受験生だと、家の中の雰囲気が少しピリピリしていることもあるかと思っています。でも、やっぱり家で民泊させてあげたいと思いますので、これから参加される方は、そういうことも考えた方が良いと思いました。泊まる子に気をつかわせることになるのも界隈そうですから…。
- ★冬休みにやる方が良い気がしました。

⑤ 芸能交流会について

- かさ踊りを短期間で覚え、堂々と発表していました。みんなとっても上手でした。
- 夏のときも感じましたが、読谷村の発表はすごいなーと思いました。ビデオは感動して涙が出そうになりました。白川村も負けてはいられませんね。
- 読谷村の方が作ってくれたDVDがあるのならば、私たちも欲しいです。家族からのビデオレターなどを自分の家族にも見せたいです。
- 交流会で見せて頂いた読谷村のDVDが欲しいです。
- 全体的にとっても良かったです。
- とっても良かったです。楽しかったです。
- みんながんばっていて感動しました。文化の違いを見ることができ勉強になりました。
- 子どもたちのがんばりに感動しました。
- 沖縄の芸能を生で見られて感動！！
- 棒術を初めて見ました。その地域の芸能を見て、何かを感じることはとても良いと思う。
- ▲発表するところと見る席が同じ高さなので見にくかったです。ステージのような所があったら良かったです。座ってしまうと後ろからはほとんど見えませんでした。
- ▲発表を一段高くして（ステージなど）やった方が、後ろの方のお客様までよく見えるかなあと感じました。
- ▲せっかくの民踊等が下の方が全く見えず残念。ちゃんと舞台のある場所は沢山あるのに、なぜカルチャーセンターだったのか。
- ▲内容は良いと思います。舞台上でやった方がもっと良かったと思います。
- ★民踊も簡単な衣装があればと思いました。
- ★沖縄の子どもたちが衣装を着けているのを見て、すごく新鮮で素晴らしかったです。そんなにかさばるものでもありませんし、来年度は沖縄へ行く時やこちらでの交流会の時には、ぜひ白川も衣装を着けてみてはどうかと思いました。
- ★白川の子も民踊の衣装で披露すると良かったと思います。
- ★白川の子で獅子取りを経験している子がいるのならば、獅子舞も披露できると迫力があるかもしれません。ただし、大人の人の手伝ってもらわなければいけません。

⑥ その他お気づきの点は何でもお書き下さい。

- 家はインフルエンザで相手の子を泊めることが出来ませんでした。お世話になった孫右工門さんに2時間ほど子どもと一緒に言って驚きました。田んぼにテントを立て、その中で、みんなで夕食を食べていたのです。雪の中での夕食良かったです。ちゃんとストーブも用意してありました。すごいおもてなしだと思ったし、子どもたちにとってもいい思い出になったと思います。
- △そんな中で思ったのですが「わが家じゃなくて良かったかも」とふと感じ、やっぱり素晴らしい世界遺産合掌の中で泊まれたことは、沖縄の子にとって、すごい体験であり、思い出になるんじゃないかなと。来年同じことがあるのならば、沖縄の子みんなが泊まれるといいなと思いました。いろりで焼いた魚もおいしかったし、朴葉みそもすごく美味しかったと沖縄の子が教えてくれました。やっぱり家じゃなくて良かったのかもまた思い、来年度への引き継ぎにさせていただきます。
- 教育委員会の方をはじめ、ジュニアリーダーの子ども達や育成会の方々のみなさん、いろいろとありがとうございました。お世話になりました。このような交流会は、ずっと続けて欲しいと思います。お疲れ様でした。

③民泊について

- 先にお世話になったので、来てくれることが楽しみでした。
 - 私たちにとっても民泊受け入れは初めてのことで、とても良い経験をさせて頂きました。インフルエンザが流行ってしまい、交流会前に民泊受け入れのことで新谷さんなどとても大変だったかと思えます。いろいろとありがとうございました。
 - こちらが後からの受け入れだったので、あちらでどんな風に過ごしたのか、どんな食事を出して頂いたのか、子どもの話を参考にできたので、そこまで不安はありませんでした。
 - 全体活動の時間もあったので、家で受け入れて過ごす時間と全体にお任せできる時間とのバランスが良く、負担も全く感じませんでした。
 - お互いの家に宿泊ができ、楽しく過ごせたようです。インフルエンザにかかり、ご迷惑をおかけしてしまいすみませんでした。ご配慮頂きありがとうございました。
 - 今回は金曜日の朝に妹がインフルエンザになり慌てましたが、急遽民宿に泊めてもらったので、すごく助かりました。もしも、今回のようにインフルエンザが流行ってしまった時のことを考えて、余裕をもって民泊の場所を準備していたら新谷さんも大変にならなかったかも？
 - 着いた日、夜にも関わらず、外に出て雪山に登って楽しそうに遊んでいました。
 - 沖縄ではお風呂の湯船につからないらしく「どうやって湯船に入ればいいのか分からなかった」と言われたとき少しビックリしました。
 - 特別な用意も無く迎えました。食事は、ころ芋や川魚、朴葉みそなど飛騨のメニューにしましたが、本当のところ子どもにとっては好まなかったかも、と心配もしました。
 - 子どもの体格が似ていたことで、防寒に足りない物が間に合ったので良かったです。
- ▲インフルエンザ、非常に困りました。
- ▲初めてなので少し戸惑ってしまいました。沖縄から帰ってきて冬を迎えるまでにいろいろと話していた（計画していた）ことが出来なくて…。わが家は親がいなかったもので、楽しませてあげることが出来なかったような気がしています。
- ▲今回はインフルエンザの関係で他の子ども宿泊してくれましたが、少し気になったのは、事情があって子どもが交流できない場合でも、親さんだけでも出来る限り対面式や交流会、送り迎えなどに参加するようにした方が良いのかなと思えました。やはり、パートナーのお子さんが不安だと思うからです。

④全体活動について（スノーシュー体験・スキー体験）

- 読谷村の子どもたちは、とても楽しそうにスノーシューやスキーをしていました。ほとんどの子がリフトに乗れ、とても楽しい体験だったと思います。
 - 雪国ならではの体験でとても良かったと思います。
 - 楽しんでいたようです。
 - またやってみたい！と言われたので良かったです。家に帰って来てからも、ずっと雪で遊ぶほど雪が嬉しかったようです。
 - 子どもに聞いたら、すごくスキー体験を喜んでいたら嬉しいです。初めてでも割と早く上達したようで良かったです。今年は吹雪いていなかったので天候的にも楽しかったと思います。
- ▲スキー体験を少し見ました。半日ではなくもっと時間がとれると良かったかなと思えました。男の子がもっと滑りたい！という感じだったのでそう思ったけど、半日で十分だった子もいたかもしれませぬ。読谷村の子どもたちが楽しそうにやっていてすごく良かったと思います。
- ▲スキーの半日は、とても短くもっと教えたかった。本人もやりたがっていたが、時間がつくれず諦めた。
- ▲スキーは、午前だけだったけど、特に男子がスキーをやりたいという子がほとんどだったので、スキー場での時間を増やしたらどうかと思いました。スキーがいやな子はソリとか。子どもたちに聞いたら、1番の楽しみはスキーと言っている子が多かったです。
- ▲毎日行事が詰め込み過ぎて大変だった。読谷村の数人の子にスノーシューはどうだったか聞いたら、「ただ雪の上を歩いて動物の足跡見ただけ」もっと雪で遊べる自由な時間が欲しかったです。読谷村の子が1番楽しみにしていたスキーは、一日あってもいいと思う。スノーシューはやめて、スキーや自由時間を増やして欲しかった。
- ▲トヨタのスノーシュー体験も良いと思いますが、スキーを楽しみにしていた子が多く、スキーを一日やった方が良かったと思います。
- ▲スキーを2日間にすれば、スキーをもっと充実して楽しめたかな…と思いました。
- ▲一日フリーの日があると良かった。
- ▲天候が良かったから思うのか（悪天候なら移動も不便かな）あと半日（PM時間）自由な時間があっても良かったかな。子どもたちは、もっと雪で遊びたがっていました。スキーは疲れたので、あれくらいで良いと言っていました。